

令和4年10月28日

所属長各位

市長 望月良男

## 令和5年度の予算編成方針について（通知）

令和5年度の予算編成にあたり、全ての職員においては次の事項を強く念頭に置いて取り組まれない。

### 【施策の成長】

現在取り組んでいる施策の全ての分野にわたり定型的・機械的に推進するのではなく、常に検証し、不断の見直しや改善を加えるなど、ありたい姿へ到達するため「どう変化させることで、将来どのように成長させるのか」という思考のもと、常に考え抜く姿勢で臨むこと。

### 【組織の成長】

一つひとつ着実に変化・成長させるため「何をすべきか、自分はどうすべきか」を自律的に問い直し、全員参加型の予算編成を実践することで組織及び職員一人ひとりも成長を遂げること。

これらを各自の源泉として十分留意しながら、下記に基づき令和5年度予算を編成する。

記

## 第1 地方財政を取り巻く環境と本市の財政状況

政府が本年6月に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2022」（骨太の方針）では、新型コロナウイルス感染症や物価高騰など直面する課題に迅速に対応しつつ、中長期的には新しい資本主義の実現に向け、人への投資、科学技術・イノベーションへの投資、スタートアップへの投資、DXへの投資、GXへの投資を5つの柱とし、経済・財政一体改革を着実に推進することとしている。

また、3年後の2025年には「大阪・関西万博」の開催が予定されており、大阪をはじめとする近畿圏への来訪者が期待される。地方都市である本市にお

いても、単に来訪者を待つだけでなく、まちの魅力をさらに磨き上げ、3年後に実現すべき取組、5年後に向けたまちづくり、10年後の目指すべきデザインをしっかりと描き、本市が今後飛躍を遂げるチャンスと捉えなければならない。

これまでのふるさと納税制度への積極的な取組みと財政健全化による一定の成果により、未来に向けた投資を可能とする環境のもと、本市の財政状況において一般会計の令和3年度決算は、ふるさと応援寄付や大型投資の影響により前年度に引き続き過去最大規模となった。さらに、令和4年度予算編成も最大規模であり、現在、執行において早い段階から準備を進め次年度予算に反映すべく努めているところである。

そうしたなか、未来に向けた投資のうち有和中学校や新都市公園、保田保育所の建設が工程終盤を迎えるとともに、本格化していく新市立病院の建設や学校施設跡地の整備など、複数の重点施策を一つひとつ着実に進めていく必要がある。

また、これらの既定事業に加えて第5次長期総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略への取組のほか、「after コロナ」に向けたデジタル化による行政サービス向上への取組など、後年度の必要経費は更に増える見通しであり、歳入歳出両面から徹底した見直しと真に必要な施策・事業への財源集中が必要である。

## 第2 令和5年度予算編成の基本方針

令和5年度から市立病院の指定管理者制度移行や初島中学校施設跡の専門学校開校など民間との連携が本格化し、今後も公共施設跡活用において民間活力の導入を検討する一方、新型コロナウイルス感染症への対応を図りつつ、引き続き、予算編成において、少子化対策や子育て支援、移住定住の促進は、重要な柱の一つとして強化するとともに、未来に向かった『変化への投資、継続・成長への投資、持続可能な自治体経営への投資』に積極的に取組むものとする。

そのためには、これまで積み増してきた各種基金や国県の補助金等を積極的に活用するべく財源の確保に努めるとともに、今後見込まれる国の令和4年度補正予算の動向によっては、有用な財源となる補助金等を的確に捉え、本市においても早期の実施が求められる事業を令和4年度に前倒して補正予算措置し、令和5年度予算と併走した事業執行に取り組むなど、所与の課題に対して柔軟かつ着実な推進を図ること。

そして、各所属がそれぞれの使命を明確に認識し、組織全体が経営感覚を持ち、スピーディーで的確な政策判断ができるよう心掛け、所属長の権限と責任の

とマネジメント機能を発揮されたい。また、少子高齢化やコロナ禍による税収入への影響を視野に入れ、財政規律を守るとともに、after コロナを見据え、市民に寄り添うべき優先事項を考慮するなど、予算編成期間を通して今一度、議論並びに熟考したうえで、主体的に事業の見直しに臨みたい。

これらを踏まえ、各所属においては、事業の発展・拡充を図るよう、第5次長期総合計画の体系に基づき、次に示す施策を重点として予算要求を行うこと。

### 《第5次長期総合計画に基づいた重点施策》

＜健やかにいきいきとした生活を実現できるまち＞

- ・妊娠から出産、子育て期まで切れ目のない支援など少子化対策に向けたMarry Youの進化
- ・地域で分娩ができる産科クリニック開院に向けた取組
- ・子育て支援施設の充実に繋がる市立保育所再編の推進
- ・高齢者、障害者など誰もが活躍できる地域包括ケアシステムの構築
- ・新市立病院建設に向けた取組の推進

＜心豊かな人を育み 地域で支え合うまち＞

- ・有和中学校の開校に向けた取組の推進
- ・質の高い教育環境に向けた「ひと」・「もの」への投資
- ・市民の健康増進を図るBIG SMILEプロジェクトの推進
- ・初島中学校施設跡地に開校した専門学校と地域との連携

＜つながりが生む魅力あるまち＞

- ・ENEOS(株)和歌山製油所の跡地利用と未来ビジョンへの取組
- ・漁業の魅力と活力を生み出す未来への投資
- ・「AGRI-LINK IN ARIDA」の推進など誇りあるみかん産地を次世代に残すためのチャレンジ
- ・企業のチャレンジ応援及び官民連携の取組の強化
- ・2025年「大阪・関西万博」に向け、まちの魅力増進につながる取組の推進
- ・5つ星プロジェクトをはじめ観光コンテンツの開発及び観光振興につながる取組の推進
- ・田舎暮らし希望者への支援サポートによる移住定住の促進

<安全・安心で調和のとれたまち>

- ・有田川の輝きを取り戻す環境整備及び景観保全への取組の強化
- ・浸水被害ゼロをめざす内水浸水対策の推進
- ・災害に備えた安心安全な環境整備の強化
- ・未来のまちをつなぐ都市計画道路整備の促進
- ・空き家、公共施設跡を若者世代の希望へ変えるイノベーションの創出

<協働を図り 未来への投資と責任ある行財政運営による持続可能なまち>

- ・マイナンバーカードの利活用拡大等住民サービス向上に資する自治体DXの推進
- ・Society5.0を実現するデータ利活用の推進
- ・積み増した各種基金や国県の補助金等の積極的な活用
- ・ふるさと応援寄付を通して有田市ファンを広げる取組の強化